



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校
平成28年度 9月号

「みんなでつくり上げた体育大会」

校長 水野 茂

これほどまでに練習ができずに当日を迎えた体育大会は記憶にありません。大会前日もグラウンドには大きな水たまりがいくつもあったため、授業の合間に職員と生徒で水取りをして5限の全体練習に間に合わせました。全体練習の後の準備の時間には、委員会の生徒の他、よびかけによって100名以上の生徒が清掃ボランティアとして集まり、落ち葉や草の始末などに汗を流してくれました。中には、テント内に並んだ机や椅子を見て「水拭きをした方がいいですね」と動き出す子たちもいて、何ともうれしい気持ちになりました。こうした「自分にできること」を行動に移した多くの生徒たちの存在が本当に大きかったです。



3年生壱崎君の、みんなの心に響く選手宣誓で始まった今年の体育大会。競技がかなり進んだ頃に、来賓でみえたある高校の先生から、「みんなで…という感じ、学校が一つになっている感じがしますね」という言葉をいただきました。1000人近い大きな学校の体育大会ですが、一人ひとりが、壱崎君の言葉の中にあつた「チーム旭中」をどこかで意識してくれていたからと思います。

そして今年も、クラスの仲間への全力応援、応援される選手の全力の姿、その姿にまた声をからしての応援が終始見られました。開会式で伝えた「自分のまわりの子たちが力を発揮できるように」を見事に実践してくれました。体育大会では大きな声援ですが、「応援」には、そっと声をかけたり、見守ったりするなど形はいろいろあります。「応援」はひとに力と元気を与えます。これからの学校生活のいろいろな場面で、ぜひまわりの子の「応援」をしてみてください。応援した子のがんばる姿に、きっと「自分も！」となるはずです。互いに応援し合う旭中学校をみんなでつくっていきましょう。



敬老会でボランティア

9月18日(日)、本地ヶ原連合自治会主催の「敬愛ふれあい行事」が新池交流館「ふらっと」で開催されました。本校3年生女子生徒2名がボランティアで参加しました。お年寄りに本を読んで聞いていただくといった役割です。題目は「まんじゅう こわい」。本を読むだけでなく、前もって紙芝居風に手描きの絵によるスライドまで準備していました。身振り手振りをまじえた臨場感あふれる朗読により、お年寄りの方々の顔にも笑顔が見られました。地域への貢献は本校の教育目標のひとつです。今後も様々なかたちで生徒・教師共々地域との結びつきを深めていきたいと考えています。

